

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山県立和気閑谷高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒709-0422
和気郡和気町尺所 15

E-mail : wakesizu@pref.okayama.jp

Website : http://wakesizu.okayama-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 170 名 女子 285 名 合計 455 名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動 (複数選択可)

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. 地域密着ボランティア活動

本校のESD活動の方針は、地域密着ボランティア活動を通して地元地域への愛着を深めコミュニケーション力や生涯学習への参画意欲を高めることにあります。さらに、この活動を生徒会が主催し活性化させることで学校全体への波及効果を期待することにあります。

①閑谷学校ボランティアガイド

本校は、1670年に備前藩主池田光政公が設立した日本最古の庶民の学校「閑谷学校」を源流としています。閑谷学校の建築意匠や歴史的遺品等について研究し、その成果を観光ガイドという形で発表するものです。主に、土・日・祝日を中心にを行っています。



この活動は「ユネスコスクール ESD 有料実践事例集」に掲載されました。また、プルデンシャルファイナンシャルボランティアスピリット賞を5年連続受賞、岡山県高校生ボランティアアワード大賞受賞等、外部からも高く評価されています。

②本荘小学校学童保育

活動に登録した生徒が月～金の曜日ごとのグループに分かれて担当します。各生徒の活動は週1回なので、部活動や委員会活動等と両立することができます。小学校にとっては毎日本校生徒が訪問することになります。閑谷学校ガイドと併せると、本校生徒が毎日地域で活動していることになります。

③エコキャップ運動

キャップを回収するだけでなく、ポスターを作成したり、町内各所に依頼したり等、地域の方の協力もいただきながら継続しています。

④その他

上記の活動が地域に浸透し、様々な連携が広がっています。今年度、地域と連携した主な活動は、次のとおりです。

年間 ショーウィンドウディスプレイ

4/29 こいこい祭り

7/20 わんぱく広場清掃

7/21 金剛川河川敷清掃

7/27 和文字焼き薪運び

7/27 水辺の楽校スタッフ

8/2,3 子ども塾防災キャンプ

8/17 和文字焼き会場清掃

10/18 閑谷学校清掃活動

10/25 稲葉

11/23 閑谷学校秋祭り

11/23 和気町ウォーキング大会受付



- 11/23 和気町ふるさと祭り
- 12/13 イルミネーション点灯式
- 12/19 全校地域清掃活動

2. ユネスコスクール世界大会高校生フォーラムと準備セミナー

2014年11月、岡山市でユネスコスクール世界大会高校生フォーラムが開催されました。高校生が運営し宣言文をまとめました。本校からは20名がスタッフとして参加しました。また、世界大会に向けて、年5回の準備セミナーに参加し、ESDのスキルとハートを学習しました。また、昨年度から参加している生徒を対象とした研修会、世界大会後の振り返りセミナーにも参加しました。

①ユネスコスクール世界大会高校生フォーラム

- 期日 11月5～7日
- 会場 ホテルグランヴィア岡山
- ディスカッションテーマ
 - A 持続可能性を阻害するもの
 - B 持続可能性を促進するもの
 - C 私たち高校生に何ができるか

②準備セミナー等

- 研修会 4月13日 岡山市勤労者福祉センター
- 第1回 5月11日 岡山大学
- 第2回 6月15日 岡山大学
- 第3回 7月20日 大阪府立大学
- 第4回 8月11日 ホテルグランヴィア岡山
- 第5回 10月5日 岡山市立岡山後楽館高校
- 振り返り 12月20日 岡山市立中央公民館

3. 総合的な学習の時間でのESD

①探究学習

和気町を学習フィールドとし、1・2年生全員が10分野23班に分かれ、地域の課題を9月～2月の期間で研究しました。地元の教育資源を活用し、各班には地元の方が講師として指導してくださいました。3月には全体発表会を行い、活動の成果を共有しました。



②国際理解

「無人島に5年間4人で暮らす」という設定で、必要不可欠なもの（Needs）とあればいいもの（Wants）を地球規模で考え、自分以外の人々に共感が持てるようにするというものです。個人で無人島に持って行くもの10個を考え、グループでNeedsとWantsを9個選び、最後に各グループの代表がワークシートを

黒板に貼り、Needs と Wants を選んだ理由を含めて発表しました。

③世界遺産学習

日本の世界遺産に関する学習の後、本校のルーツである閑谷学校についての学習をワークシートを用いて行いました。



4. 「論語」を活かしたつながり

本校生徒が講師役になり、小・中学校で論語についての出前授業を行いました。また、論語・孔子・閑谷学校について研究した内容を冊子にまとめ、地域の小・中学校に配布し地域での論語学習を推進しました。また、地域の方を対象とした論語学習会も開催しました。

また、国内の釈菜（湯島聖堂、多久聖廟、足利学校）と孔子のふるさと中国曲阜にある第一中学を訪問し、交流しました。

5. その他

①旧銀行跡地の活用

本校生徒会、町役場、商工会、観光協会、商店街等が集まり、「多様な主体の協働による地域支援事業会議」をスタートさせました。JR和気駅前旧銀行跡地の有効利用と駅前商店街の活性化について協議を重ねました。高校生の意見を採用していただき「旧銀行跡地を町の交流の場として整備する」ことになりました。床張りワークショップなどを経て、改修が完成し、各種行事に活用されています。



②ユネスコスクール交流・国際交流・地域交流

上記の旧銀行跡地を会場に「歌って学ぶイングリッシュ・クリスマス」を行いました。ユネスコスクール同士の縁で大阪府立能勢高等学校、さらに、大学の留学生、地元小学校の児童も加わって、アメリカの歌あそびなどで楽しく過ごしました。



③生徒による発表・展示

7/26 AMDA 高校生ボランティアフォーラム

8/20 ESD の散歩道

10/25 「論語」に学ぶシンポジウム

11/4, 5 バーレーン王国歓迎行事

11/ 8 ユネスコスクール全国大会 ESD 優良事例

11/15 中国ブロック・ユネスコ活動研究会岡山大会事例発表

12/20 鳥取大学地域学部シンポジウム

12/20 福井大学教育地域科学部高大連携ラウンドテーブル

12/21 ESD Café 国際塾 2014

1/14 韓国から学校視察団「地域連携について」

1/20 岡山県幼小中高PTA連合会連絡協議会研修大会

2/14 閑谷学校「まなび」フォーラム

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)